

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床化学Ⅰ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	小丸 圭一
授 業 概 要					
臨床化学検査は化学的手法により生体試料を分析する分野であるが、最も自動化が進んでおり検査結果の精度保証が要求される分野でもあるため、精度保証体系に基づく各種生体成分の測定法と基準範囲をもとに、検査データの解釈に必要な臨床的意義の習得を目指す。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・生化学的検査に必要な分析法、測定値の単位が理解できる。 ・精度管理に関する考え方が理解できる。 ・各測定項目の生化学的動態が理解できる。 ・各種生体物質の測定法と臨床的意義が理解できる。 ・各測定法の原理と特徴及び影響物質について説明できる。 					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	生化学分析の基礎知識：測定値の管理、基準範囲、検体の取扱い				小丸 圭一
2	分光光度法、クロマトグラフィ				
3	酵素的分析、免疫学的測定法、自動分析法				
4	放射性同位元素を用いた検査：放射能と放射線、放射線の測定				
5	検体・生体内検査法				
6	安全取扱と管理、関係法規				
7	糖質の測定法と臨床的意義：糖代謝と血糖				
8	血糖測定法				
9	糖尿病関連物質と評価				
10	脂質の測定法と臨床的意義：脂質代謝と疾患、リポタンパク、コレステロール				
11	中性脂肪、リン脂質、脂肪酸				
12	過酸化脂質、その他の脂質				
13	無機質の測定法と臨床的意義：ナトリウム、カリウム、クロール、重炭酸イオン				
14	カルシウム、無機リン、マグネシウム				
15	血清鉄、銅、その他の無機質				
学 習 方 法					
教科書及び配付資料を用いて講義する。					
評 価 方 法					
・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。					
先 修 科 目					
生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、生化学Ⅲ					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 臨床化学検査学 浦山 修 他 医歯薬出版					
〔参考書〕 ・シンプル生化学 改訂第7版 林 典夫 他 南江堂 ・臨床検査法提要 改訂第35版 金原出版					